

# 様々な本や文章を読んで、自分の考えを広げよう ～「自然に学ぶ新しい暮らしの在り方」とは～

中心学習材 「自然に学ぶ暮らし」(光村図書6年)

＜付けたい力＞  
 ◎目的に応じて、本や文章を選んで読む力（読力）  
 ○事実と意見の関係を押さえながら文章の内容を的確にとらえ、自分の考えを明確にする力（読ウ）

＜単元を貫く言語活動＞  
 目的に応じて本や文章を選んで読み、自分の考えを発表し合う。

＜主体的な思考・判断・表現を促す手立て＞  
 ・第1次で中心学習材で述べられている筆者の意見を捉え、感想を述べ合うとともに、知識や考えを広げていくための読解を展開するために他の事例や筆者の考え方が表れる言葉を紹介し、中心学習材を読むことについて課題意識をもたせる。  
 ・様々な事例について説明された文章を読んで情報を収集する活動において、その内容を構造化してまとめると共に、筆者の意見と照らし合わせながら自分の考えを書き留めておくようにする。

## 1 子どもと単元について

### (1) 子どもの実態

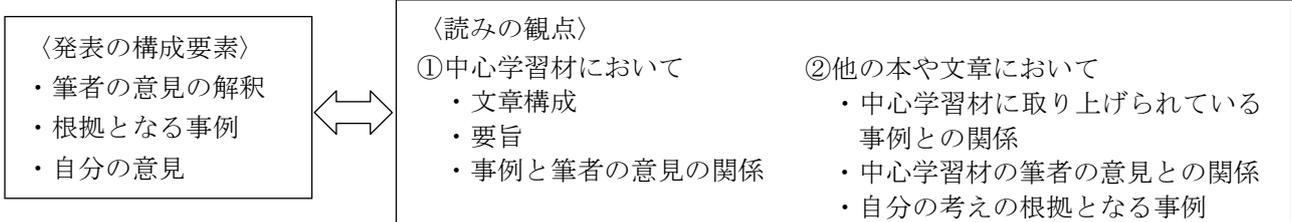
子どもたちは、説明的文章の学習において、筆者の意図や思考を読み取るために根拠として挙げられている事例や構成の仕方に注目することが大切であることを学び、筆者の意見に対して自分の考えを示す活動を積み重ねている。その中で、事例や筆者の意見を、自分の知識や経験と結び付けて広げたり深めたりしながら文章を読む力を高めている。しかし、それが中心学習材に限られた学習であったことを考えると、その力が日常の読書生活の中で生きて働くものであるか疑問である。他教科や日常生活において複数の本や文章を読んで課題解決に必要な事実を整理分析し、それらを総合的に捉えて自分の考えを形成していく力を高めていくことが必要であると感じている。

### (2) 学習材について

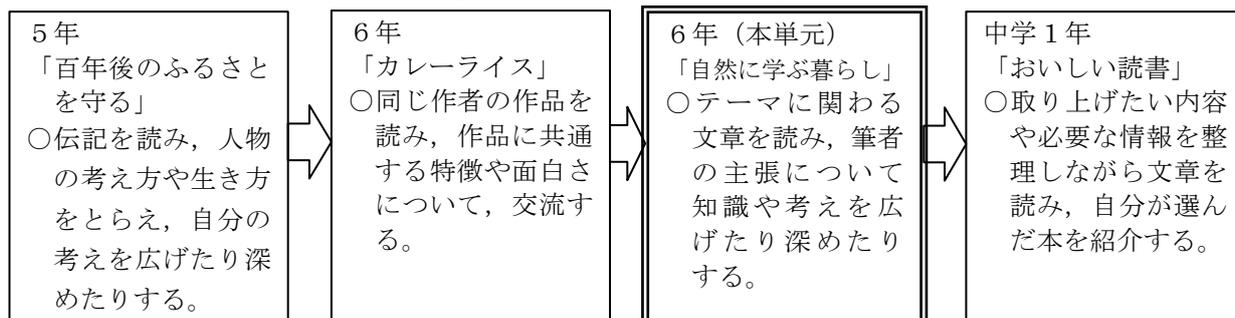
中心学習材「自然に学ぶ暮らし」は、自然の仕組みを自分たちの暮らしに生かすことの必要性を、様々な事例とともに述べている文章である。テーマとなる「ネイチャー・テクノロジー」は子どもたちにとって馴染みの薄いものであるが、事例として挙げられている「シロアリの巣」「生き物のあわの使い方」「トンボの羽の仕組み」が図や写真と共に説明されており、子どもたちにとって具体的なイメージをもちながら読み進めることができる内容となっている。また、子どもたちは、生き物の仕組みが自分たちの暮らしに効果的に活用されていることの意外性に驚き、感心することだろう。さらに、関連図書、ウェブサイトで紹介されている幅広く、多様なネイチャー・テクノロジーの世界は、子どもたちの興味関心を広げることが期待できる。以上のことから、テーマや筆者の意見への好奇心をもって複数の本や文章を読み、必要な情報を整理分析しながら自分の考えを形成していくのにふさわしい学習材であると言える。

### (3) 言語活動の特徴と系統

本単元では、「目的に応じて本や文章を選んで読み、自分の考えを発表し合う」ことを、単元を貫く言語活動として設定する。以下の特徴を通して、付けたい力の確実な育成を図る。



「目的に応じて本や文章を選んで読む」という言語活動の系統は、以下のとおりである。



#### (4) 指導に当たって

指導に当たっては、次の三つのことを大切にします。

一つ目は、本単元で取り上げられているテーマと筆者の意見について関心を高め、知的好奇心や課題意識をもって文章を読み進めていけるようにすることです。そのために、単元の導入に当たっては、中心学習材に示される筆者の意見を捉えるとともに、身近な生活で利用されているネイチャー・テクノロジーの実例を紹介する。また、中心学習材の筆者がその分野の専門家であることを紹介し、著書に記された言葉や関連図書に出会わせていく。このような活動を通して、知識や考えを広げたり深めたりしていくことを目的とし、本や文章を読んでいくことへの課題意識を高めていきたい。

二つ目は、筆者の意見と事例を関係付けながら、様々な本や文章を読んでいくことです。第2次の中心学習材や関連図書等を読む段階において、事例がどのように筆者の意見と結びつくのか、文章を構造的に整理する活動を設定する。事例に示されている事実を通して、筆者の意図や思考を理解することは、本や文章を読んでいく際の目的意識や方法意識につながるものである。目的もたずにたくさんの文章を読むのではなく、必要な情報を集めることや自分の考えを形成していくことにつながるような読みの姿を目指したい。

三つ目は、読み取った情報を総合的に関係付け、自分の考えの形成に役立てるようにすることです。子どもたちは、単元を通して、読みの目的や課題に沿いながら複数の本や文章を読み、知識や考えを広げたり深めたりする。読んで集めた様々な情報や考えたこと、感じたことは一つに紡がれ、読みの課題についての自分の意見を形成することにつながっていく。その過程を可視化し、読みの成果を感じられるように、読み取った事実をワークシートに整理したり、その意味を分析したりする。また、取り上げた事例と自分の意見とのつながりを構造化して確かめていく活動を設定する。

これらを通して、目的に合わせて複数の本や文章から必要な情報を取り出し、知識や自分の考えを広げたり深めたりしていく読みの力を高めていきたい。

## 2 単元の指導目標

- 文章の内容や筆者の考えに関心をもち、関連する複数の本や文章を読むとする。 【関心・意欲・態度】
- ◎自分の考えをまとめるために、本や文章を選んで読むことができる。 【読むこと カ】
- 筆者の意見に照らしてさまざまな事例を読み、その関係を捉えることができる。 【読むこと ウ】
- 筆者が結論に至るまでの過程について、文章の構成を理解している。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1)イ(キ)】

## 3 単元の評価規準

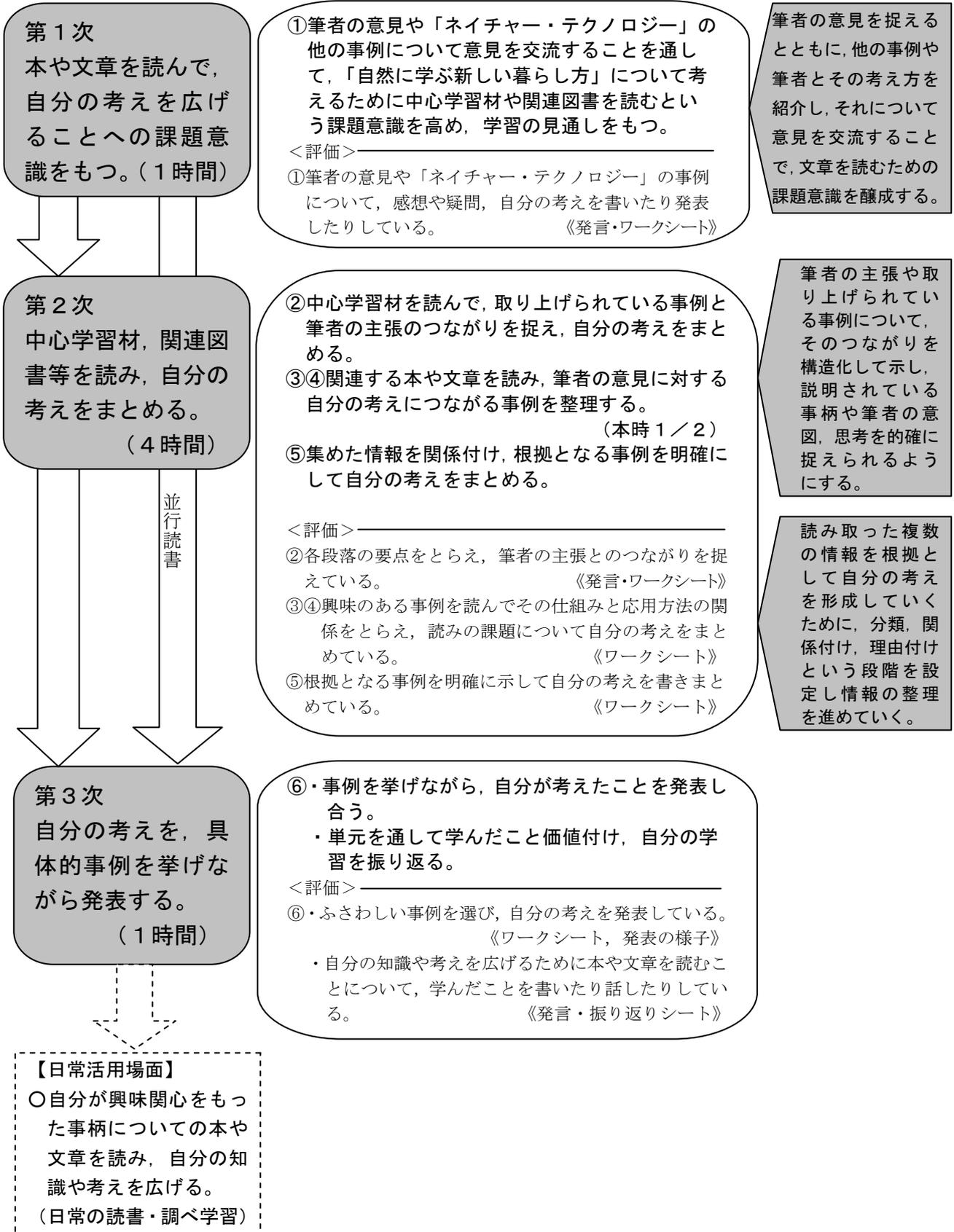
国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○筆者の意見と重ね合わせながら、関連する本や文章を読み、読み取った事例をもとにして自分の考えをまとめようとしている。	◎複数の本や文章から自分の考えを支える事例を集め、それらを関係付けて根拠とし、自分の考えをまとめることができる。 ○様々な事例について、自然の仕組みとその活用場面のつながりを整理し、筆者の主張との関係をまとめることができる。	○筆者がどのような構成で考えを述べているのかを捉え、筆者の意図や思考を理解している。(各段落の要点・取り上げられている事例・要旨・事例と主張の関係)

4 学習指導計画（全6時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な手立て】



5 本時の指導（3／6時）

(1) ねらい

自分が興味をもった事例を読み返してその内容を整理し、それを根拠として課題に対する自分の考えをまとめることができる。

(2) 展開

学習活動	思考を促す発問や指示 (◎) と 反応例 (・), 学習内容	指導の手立て (○) と評価
<p>1 本時までに読んだ事例を紹介し合う。</p> <p>2 学習課題を設定する。</p> <p>事実と意見の関係を整理し、「自然に学ぶ暮らし」はどうかあればよいか自分の考えをまとめよう。</p>	<p>◎様々な文章を読んで、「新しい暮らしの在り方」について、どんなことを考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境にやさしい暮らしが必要だ。</li> <li>・もっと便利に暮らすことができる。</li> <li>・そこまでは考えていなかった。</li> </ul>	<p>○様々な事例を挙げ、本時までの読書活動を認めるとともに、目的に応じた読みができていたかどうか振り返る。</p> <p>○自分の考えを明確にするためには、事例を正確に読み取ることが必要であることを確認し、本時の課題設定につなげる。</p>
<p>3 中心学習材を振り返り、事例と意見の関係を確認する。</p> <p>4 自分が読んだ事例を整理し、自分の考えをまとめる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【根拠となる事例を基に意見を示す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な事例の選択</li> <li>・事例と意見のつながり</li> </ul> </div> <p>◎この事例は、「今の生活の在り方を問い直し、自然から学ぶ」ことにつながっているだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気の使い過ぎという問題点を上げている。</li> <li>・この仕組みを応用することで、電気が節約できる。</li> <li>・この工夫は日本の気候に合っている。</li> </ul> <p>◎自分が読んだ事例を同じように整理し、自分の考えを書きまとめてみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【事例の的確な読み取り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「仕組み」と「応用方法」のつながり</li> <li>・事例を根拠とした自分の考え</li> </ul> </div>	<p>○「シロアリの巣」の事例を取り上げ、①どのような仕組みか、②どのように応用できるかという観点で整理することで、書かれている内容を的確に押さえる。</p> <p>○事例と筆者の考えのつながりを考えさせることによって、具体的事例が筆者の意見を支えていることに気付かせるようにする。</p> <p>○読み取ったことを整理するためのシートを用意し、事例に示される「仕組み」と「応用方法」のつながりが明確になるようにする。また、自分の考えを「このように」で始まる文にまとめられるようにする。</p> <p>○整理が難しい子には、まず自然について述べている部分と人間の暮らしについて述べている部分を読み分けるように助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈評価〉</p> <p>興味のある事例を読み返してその仕組みと応用方法の関係を捉え、「自然に学ぶ暮らしの在り方」について自分の考えをまとめることができる。</p> <p style="text-align: right;">《ワークシート》</p> </div>
<p>5 本時の学習を振り返り、学習内容を価値づける。</p> <p>6 次時の学習を確認する。</p>		<p>○数人のシートを取り上げ、本時の学習内容について全体で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例について「仕組み」と「応用方法」は適切か。</li> <li>・事例と意見のつながりは適切か。</li> </ul> <p>○学習をして自分の考えをまとめる際に大事だと思ったことを発表し合う。</p> <p>○本時で学んだ読み方を生かして文章を読み、様々な情報を集めたり考えを深めたりしていくことを確認する。</p>